



ひろみっこ

令和4年3月1日
富士市立広見小学校
学校だより 3月号

小中一貫教育目標 「一生懸命 がんばる」
重点目標 「ともに学ぼう 挑戦しよう」

3月の生活目標 「ありがとうの気持ちをあらわそう。」

校長 石原 克己

3月に入りました。3月は「弥生（やよい）」とも呼ばれます。その語源は、「いやおい（弥生）」の変化とされています。「いや（弥）」は、「いよいよ」「ますます」などの意味を表し、「おい（生）」は、芽吹くことを意味するそうです。3月は、草木がぐんと伸びるように、子どもたちにとっても更なる成長に向けた準備期間だと捉えています。ご家庭におかれましても、お子さんの前向きな思いを大切にして、意欲をもって進学・進級への第一歩を踏み出すことができますように、あたたかな言葉掛けと見守り、見届けをお願いいたします

また、4月の頃の姿を思い起こすと、どの学年の子どもたちも、これまでの体験・経験を通じて、たくましく、そして、着実に成長を遂げているように感じています。ひとえに、地域の方々と保護者の皆様の本校の教育活動に対するご理解とご協力の賜物だと思っております。新型コロナウイルス感染拡大防止の対応も含め、1年間、本当に、ありがとうございます。



◇「委員会引継ぎ式」

2月15日（火）、「委員会引継ぎ式」を行いました。委員会ごとに6年生と5年生が距離を取って対面して整列しました。まず、6年生の委員長が、これまで取り組んできた活動に対する思いを伝えました。次に、その内容を受けて5年生の委員会の代表者が、今後の取組の決意を話しました。例年ですと、「はい！」と大きな声で返事をして委員会ごとに起立し、「お願いします!」「がんばります!」と言葉を交わすのですが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策で行うことができませんでした。その代わりに、6年生、5年生とも、素早い動作に気持ちを乗せて表現し、その態度は大変立派でした。また、下級生の代表として参加した4年生も、一言も話さずに、とてもよい姿勢で見守ってくれていました。5年生になってからの活躍が期待できます。

最後に、6年生の鈴木桃子さんと5年生の米内寧々さんが、それぞれの学年を代表して言葉を立派に述べ、委員会引継ぎ式を締めくくっていました。

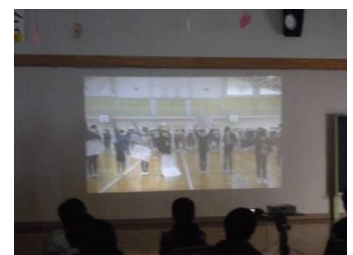


◇「笑顔あふれる6年生ありがとうの会」

2月25日（金）、「一人一人の6年生への気持ちを笑顔で伝えよう」のスローガンのもとに「笑顔あふれる6年生ありがとうの会」を開きました。5年生を中心に会場の飾り付けをしたり、学年ごと心のプレゼント（出し物）の練習をしたりと準備を進めてきました。

当日は、新型コロナウイルス感染拡大防止を鑑み、6年生だけが体育館に集まりました。各学年は、それぞれに思いを込めた合唱、寸劇、感謝の言葉などの心のプレゼントを事前に撮影したビデオを上映して6年生に贈りました。6年生のためにと、一生懸命に語り掛ける姿に、感動を覚えました。そして、在校生からの心のプレゼントに対し、6年生からも、GIGA タブレットを利用して体育館から各教室に配信し、お礼の言葉とともに「いのちの歌」の合唱がプレゼントされました。

スローガンのおりに、「楽しかったよ」「がんばってね」「忘れないよ」「また会おうね」と6年生への気持ちが笑顔で伝えられ、心がほっこりとする会になりました。6年生は、下級生の思いを受け止めて卒業式に向けた気持ちが向上したことと思います。また、工夫しながら会を企画・運営して、見事にやり遂げた5年生は、新リーダーへの階段をまた一段駆け上がったことを実感しました。



※「修了証」の職印の省略について

後期の「あらわれ」は、その学年の「修了証」を兼ねています。これまでは、職印（学校長印）が押印されておりましたが、今年度より省略させていただきます。ご了承ください。